だいめい

名前

学校　学年

枚数

チリンチリン

みかざきほまれ
宮崎誉

LCA国際小学校

2年
4まい

20×20

ぼくは、工場見学に行くことがすきです。いままで十二こいじょう見学をしました。行った場しょは、おぎのパン・あじパンダちゃんがいるあじのもと工場・車をつくるNISSAN・しょくひんサンプル・ビールをつくるキリンビアビレッジ・あさ日しんぶんをいんさつするトパパン・コカコーラ工場・いろいろなコヨネーズがあるマヨテラス・ひこうきがちかくで見えるJALとANAそして、絵をかくのがむずかしいえどふうりんです。

ぼくはでてん車やバスで工場見学に行ってます。自分のらいしんをつかいます。らいしんやタッチするからかんたんです。

一ばんとおかったのはええどふうりんでしたな。ふうりんの形づくりがむずかしかったです。ぼくのしんちょうぐらいのガラスのぼうでさいしょ小さくいきをはきました。そして中くらいのいきをはました。そうすると、ガラスは丸くなりました。一ばん目にきた男の子はへ一人でガラスを丸くすることをちょう

せんすることができました。男の子が大きくふいたら、ふうりんも大きくなって、はれつした。ぼくたちは、2ばん目につきました。ぼくは、十分ぐらい早くきてちょうせんしたかったです。しょく人さんは、小さいふうりんをつくるのに三年かかります。さらに大きいふうりんはつくるのに十年かかります。だから、十年もまてないのでぼくは、しょく人さんにてつだってもらいました。ふうりんをつくったところは、あつかったです。せんぷうきがあってても火があったのであつかったです。あついガラスのふうりんをひやしてもらいました。ひやしてもらっているあいだにちがうおへやで絵のがきかたをおしえてもらいました。そのへやには二十二いじょうのげいのう火がつくったふうりんとサインがあいました。ひょうたんふうりんがかっこいいとおもいました。ふうりんは中にえのぐをぬります。絵をぬるルールあります。生きものとかをかくときは、目を先かいてかわいてから本

20×20

たいをぬります。もしまちがえたらしょうがないからごまかしてがらがらにします。パレットはしんぶん紙です。かんたんなのは花火です。なぜかというと、ふでで花火はてんとせんでできるからです。ぼくはふうりんにでかいほしをかきました。ぼくはーそのまえにきょうのアートアクアリウムにいきました。そこできんぎょを見たからそのきんぎょをかきました。目はうまくいったけど本たいでしっぽがしまったのまちがえたから金ぎょに見えるようにごまかしました。おかあさんは、見本のふうりんをまねしましたのだから早くおわりました。おとうさんは、おにをかいてうまかったです。でばんうれしかったのは、ぼくのかん字「誉」をくろ色できれいに書いてくれたことです。おとうさんは、ていねいにかきすぎなのでそとにくるのがおそかったです。絵をかいたあとはおばちゃんにひもをつけてもらいました。そのよこにいたおじちゃんは、手とゆびとうでにほうたいをまいてい

たのでしんぱいしました。音はみんなそれぞれちがいます。なぜかというとそれぞれふうりんのきり口がちがうギザギザだからです。かえりは、でん車で二時間ねました。いえでかぞくとふうりんの音がちがうかをたしかめました。みんな音がちがいました。おかあさんのふうりんの音がチャランチャランと聞こえました。ぼくは、一ばんきれいだと思いました。ふうりんをかざったけれど、台風がきたからふうりんの音がきこえなかった。ぼくはし晴れでやさしい風の日をたのしみにしています。